

衝撃を受ける製品の開発・評価技術 ～実験・計測・CAEによるアプローチ～

日時

2026年10月19日(月) 14:00～17:00

会場

名古屋市工業研究所 視聴覚室

(名古屋市熱田区六番三丁目4番41号 名古屋市工業研究所 電子技術総合センター1F)

自動車部品メーカーや製品設計メーカーにおいて、“衝撃を受ける”製品設計に携わる技術者・研究者の皆様を対象に、最新の開発・評価技術を、実験、計測、CAEの面から学べる講演会を開催いたします。

プログラム

講演1 14:00～15:00

「模型実験による自動車用強制制動体の制動性能評価」

名城大学 理工学部 交通機械工学科 教授 西村尚哉氏

自動車を強制的に停止させる装置である強制制動体は、道路工事現場に誤って侵入する車両による事故防止や、作業者の安全確保のために用いられている。衝突安全性や信頼性向上における強制制動体の性能改善のためには、装置の制動特性評価や構造最適化が必要である。本講演では、設計指針につなげることを目的に、これまで実施してきた制動体の性能向上に関する取り組みについて述べる。

講演2 15:00～15:25

「見えない高速現象を捉える～熱・応力・形状変化を一瞬で解き明かす～」

株式会社フォトロン イメージングソリューション事業本部 西優弥氏

製造現場の高速現象(破断、熱拡散等)は目視困難である。本講演では、最新ハイスピードカメラの動向と共に、EVバッテリー等の熱暴走を捉える「赤外線技術」や、透明樹脂・ガラスの応力を可視化する「偏光技術」を解説する。具体的な応用事例を交え、製品開発の期間短縮や品質向上に貢献する手法を提案する。

講演3 15:25～15:50

「CAEを活用した構造用発泡樹脂部品の設計」

イイダ産業株式会社 CAE部 部長 北村繁明氏

構造用の硬質発泡樹脂部品は、自動車の骨格を軽量に補強し衝突及び剛性性能を向上させる製品である。部品形状を合理化し、自動車メーカーへ提案するためにはCAE解析が必要不可欠であり、解析精度が極めて重要となる。本講演では、CAE解析精度向上の取り組みと活用事例について紹介する。

講演4 15:50～16:00

「名古屋市工業研究所における高速・衝撃試験の紹介」

システム技術部 計測技術研究室 研究員 谷口智

装置見学 16:10～17:00

希望者による装置見学(高速引張試験機、衝撃圧縮試験機、振動試験機)

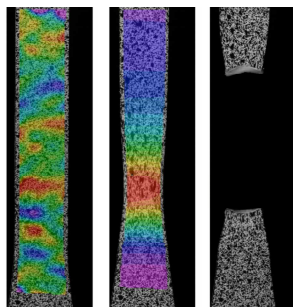
主催:名古屋市工業研究所

協賛:愛知県プラスチック成形工業組合、(公社)自動車技術会中部支部、
(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、中部プラスチック金型協同組合、(公財)名古屋産業振興公社

見学できる装置（一部）



高速引張試験機



デジタル画像相関法による
ひずみ計測事例



衝撃圧縮試験機



衝撃圧縮試験例

参加費

無料

定員

50名(見学は先着30名)

申込期限

2026年10月15日(木)

申込方法

申込フォーム
または
電子メールでお申
込みください

申込フォーム

右記二次元コードまたはURLよりお申込みください。

URL <https://logoform.jp/f/q3pK4>



電子メールの場合は

①企業・組織名 ②住所 ③所属・役職 ④氏名 ⑤E-mail ⑥電話番号
⑦装置見学を希望するかどうか
を記入のうえ、下記の申込先までご送付ください。
※参加証は発行いたしませんので、
こちらからお断りの連絡がない限り直接会場にお越しください。

お申込み
お問合せ

名古屋市工業研究所 システム技術部 計測技術研究室
E-mail:natsume.masayuki[at]nmiri.city.nagoya.jp
[at]→@に変更してください
TEL:052-654-9870

○名古屋市工業研究所のメルマガジン登録

申込時にご記入いただいたE-mailは、当所のメルマガ「NMIRI技術ニュース」に登録させていただきます。ものづくり企業のお役に立つ技術情報や当所主催のイベント情報などを毎月配信しております。メルマガ配信を「希望しない方」は申込時にお申し出ください。
メルマガには次からもご登録いただけます。 <https://www.nmiri.city.nagoya.jp/mailmagazine/>



※ご記入いただいた個人情報は、本イベントの実施及びメルマガ等のイベント案内に限り使用し、主催者、事務局、講師以外の第三者への提供は一切行いません。